

<原稿テンプレート>

第 82 回大会 HP (http://jpa2018.com/join_notes.html#templates) からダウンロードすることができます。
原稿と発表申込システムに入力する内容は、必ず一致させてください。

日本語版 Mini-CERTS (Cambridge-Exeter Repetitive Thought Scale) の信頼性・妥当性の検討

○神原広平^{1,2}・吉良悠吾¹・尾形明子¹

(¹広島大学大学院教育学研究科・²(独)日本学術振興会特別研究員 DC)

キーワード：反復性思考，処理モード，尺度翻訳

Development of a Japanese version of the Mini-Cambridge-Exeter Repetitive Thought Scale (Mini-CERTS)

Kohei KAMBARA^{1,2}, Yugo KIRA¹ and Akiko OGATA¹

(¹Graduate School of Education, Hiroshima Univ., ²Research Fellow of Japan Society for the Promotion of Science DC)

Key Words: Repetitive thoughts, Processing modes, Translation

目 的

反復性思考は、頻繁に生じる自己や世界についての思考である (Segerstorm et al., 2003)。反復性思考は抑うつを予測するなど非機能的結果をもたらす一方で、問題解決の促進といった機能的結果をもたらす (Watkins et al., 2008)。Watkins (2008) は、反復性思考に関する幅広い論文をレビューし、“処理モード”が反復性思考の機能性を分ける一因と述べている。処理モードとは、反復性思考の抽象性であり、抽象的処理モードの反復性思考 (以下、AAT) は、出来事や行動の意味の要約に関連した思考をもたらす、具体的処理モードの反復性思考 (以下、CET) は、出来事や活動の詳細に焦点化した思考を生じさせる。例えば、ある社員が上司から書類の不備を指摘された際、「私はいつも指摘されている、なぜ指摘されるのだろうか」は AAT であり、「上司に不備で指摘された」は CET である。失敗やネガティブイベントに対する AAT は、その後のネガティブな気分増加 (Moberly & Watkins, 2006) といった非機能的結果をもたらす。反復性思考の処理モードを測定する質問紙は、The Mini-CERTS (Cambridge-Exeter Repetitive Thought Scale; Douilliez et al., 2014) がある。この尺度は、Watkins (2008) の処理モードの分類の 2 因子構造を想定した尺度であるが、日本語版尺度は作成されていない。本研究は、Mini-CERTS の日本語翻訳を行い、因子構造の妥当性および基準関連妥当性を検証する。

方 法

対象者 大学生 222 名 (男性 108 名, 女性 94 名, 不明 20 名, 平均年齢 = 20.32, $SD=1.66$) に対して質問紙を配布した。

測定尺度 (1) 日本語版 Mini-CERTS 普段の反復性思考について訊ねる尺度であり 16 項目で構成される。下位因子として、AAT (項目例：“私は頑なに同じようなことばかり考えてしまう”) と CET (項目例：“私は細かく分析せずに周りの変化を感じ取ったり、それに反応したりできる”) がある。それらの項目に対する当てはまりを、1 (“ほとんどない”) から 4 (“ほとんどいつも”) の 4 件法で尋ねた。(2) 抑うつ症状 小嶋・古川 (2003) により作成された日本語版 BDI-II を使用した。(3) 心配 本岡他 (2009) により作成された日本語版 Penn State Worry Questionnaire を使用した。(4) 反すう Hasegawa (2013) によって作成された日本語版 Ruminative Responses Scale を使用した。

手続き 原版との概念的等価性を担保するために、尺度翻訳に関する基本指針 (稲田, 2015) にのっとり、翻訳を実施した。その後、質問紙を集合調査および縁故法で配布した。本調査は、広島大学大学院教育学研究科倫理審査委員会の承認を得て実施した。

結 果

探索的因子分析を実施し、因子負荷量が.3 を切る項目を除外したところ、16 項目中 4 項目が除外された (Table 1)。確認的因子分析の結果、4 項目を除いた 12 項目の適合度が原版通りの 16 項目の適合度よりも良い指標を示し ($GFI = .906$, $AGFI = .861$, $CFI = .782$, $RMSEA = .087$), 12 項目の Cronbach の α 係数は、AAT: $\alpha = .65$ CET: $\alpha = .69$ であった。よって以降は 12 項目版で解析した。AAT は心配、反すうといった非機能的な反復性思考と高い正の相関がみられ、CET は弱い正の相関もしくは無相関であった。さらに、抑うつを目的変数とし、Mini-CERTS、反すう、心配を説明変数に投入した重回帰分析を実施したところ、AAT が抑うつの強さを有意に予測した一方で ($\beta = .216$, $p < .05$), CET は抑うつの弱さを有意に予測した ($\beta = -.148$, $p < .05$)。

考 察

本研究より、信頼性および妥当性を有した日本語版の Mini-CERTS (CERTS-J) が作成された。しかし、原版と異なり、4 項目が除外され、CET は従来の非機能的な反復性思考である反すうや心配と負の相関を示さなかった。一方で、CERTS-J は、原版の構造よりも適合度が良く、従来の反すうや心配といった非機能的な反復性思考の尺度と異なり、AAT が抑うつの増加を予測し、CET は抑うつの減少を予測するといった、反復性思考の機能的弁別が可能であることが示された。CERTS-J によって、本邦の臨床場面において、非機能的な思考と適応的な思考の変化を同時に測定・検討することが可能になると考えられる。

Table 1
The result of exploring factor analysis of CERTS-J

	FI	F2
FI AAT ($\alpha = .65$)		
1 My thinking tends to get stuck in a rut, involving only a few themes / 私は、頑なに同じようなことばかり考え込んでしまう	.44	-.09
3 I compare myself to other people / 私は、自分自身を他の人と比較する	.58	.12
7 I think about why I can't get started on something / 私は、取りかかれないことについて考える	.32	.08
10 I think I'm no good at all / 私は、私には良いところが全くないと思う	.44	-.27
12 I feel under pressure to stop my worse fears happening / 私は、私にとって恐ろしいことがこれ以上起きないようにしなければいけないというプレッシャーを感じる	.54	.06
15 I am concerned about what other people might think of me / 私は、他の人が自分について考えていることを気にする	.61	.06
F2 CET ($\alpha = .69$)		
2 I can grasp and respond to changes in the world around me without having to analyze the details / 私は、細かく分析せずに、周りの変化を感じ取ったり、それに反応したりできる	-.03	.52
4 My thinking tends to become open, loose, expansive and creative / 私の考えは、開放的で自由であり、広がりやすく、創造的なものになりやすい	-.15	.74
8 My thoughts move in new and interesting directions / 私の思考は、新しいことや興味のある方へ向きやすい	.08	.41
9 I seem to be engaged in and directly in touch with what is going on around me / 私は、考えた物事を今まさに体験しているかのように感じる	.04	.38
13 I focus on exploring and playing with ideas, curious about where it will lead / 私は、アイディア探しを楽しみ、そこから生み出される可能性に興味がある	-.04	.53
16 I have very rapid impressions and intuitions of what is happening around me / 私は、私の周りで起こったことについて、素早く感じとったり直感的に捉えたりする	.14	.57
5 I judge myself against my own standards and beliefs / 私は、自分のルールや価値観に従って自分自身を評価する	.08	-.28
6 I focus on why things happened the way they did / 私は、なぜそのような出来事が起こったのか考える	.21	-.28
11 I'm relaxed about going with the flow of what comes to mind / 私は、頭に浮かんだ考えやイメージにとらわれないでいられる	-.07	.25
14 My thinking tends to spiral out from one specific event to broader, general aspects of my life / 私は、ある特定の出来事を考え始めると、自分の人生の広く一般的な側面にまで考えを広げる	.08	-.29
Correlation among factors		.10

Note. We describe the factor loading score above in 12-items final version, but under 4 items of it is when the item excluded. ; The left of items is origin version, the right is Japanese version.